

# 愛光会だより

第108号

桜島学園 和光学園 桜町学園 フレンドリーホームいいぐま  
総合サポートセンターラン おひさまキッズ 福祉総合相談支援センター あい  
小規模多機能ホーム あいわ

令和3年1月1日発行

発行・編集 社会福祉法人 愛光会  
鹿屋市海道町729番地6 TEL 0994-46-2821  
FAX 0994-46-2825  
<http://www.aikohkai.com/>



おかげさまで「小規模多機能ホーム あいわ」を令和2年10月1日に吾平地区に於いて、スタッフ9名のもと、無事に開設することが出来ました。

これもひとえに、皆様方のご支援によるところと心より感謝致しております。

今後とも、地域共生社会の実現に向け、吾平地区の皆様と交流を図りながら、地域に根差したサービスの提供を目指して全力で努力致しますので、何卒格別のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。 スタッフ一同

# 新年を迎えて

社会福祉法人愛光会

理事長 指宿 興一

皆様方には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の異常事態にも関わらず、愛光会事業に深いご理解と多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

とりわけ感染予防対策として、皆様方のご理解を得て、昨年の二月から「三密(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避」のために「利用者様の施設外活動」や「面会や帰省」の自粛をお願いをした上で緊急時以外実施し、今年も継続しています。もちろん利用者様とご家族との絆を今まで以上に重要で大切なことと考えて、手紙、電話、スマホ等の積極的な活用と「三密」を避けた「面会」を工夫しました。お陰をもちまして利用者様、役職員との関係者に感染はなく元気に年を越せました。

しかしながら現時点では、新型コロナウイルス感染症の終息を見通

せません。なお一層の緊張感をもって、より徹底した感染防止に努め、良質な支援サービスを提供できるよう努力いたしますので、皆様方のご支援とご理解をよろしくお願い申し上げます。

この新型コロナウイルス感染防止のための「ワクチン」の接種は、今年前半を目指して医療従事者、高齢者、障害者、基礎疾患者を優先して実施されると聞き及んでいます。

その日が早く来ることを信じて、皆様方とともに頑張つて参りましょう。

さて、この「新型コロナウイルス」の完全絶滅は困難と言われ、当面感染拡大を制御しながら共生することを強いられると考えられています。これからは今まで以上に「コロナウイルスと共生時代」であることを改めて再認識したところ です。

「感染拡大」が終息すると今まで見てきた「景色」が見たことのない「景色」に一変すると言われています。

その「景色」を想定することは、非常に困難ですが、従来の「文化・慣習」、「社会構造」、「生活様式」等と「それらの価値観」の大変革の兆しが芽生えるのではないのでしょうか。

今年は「その兆し」の全体像を理解し、方向性を見極め、予兆を的確に把握するために、従来の常識を破棄して、あらゆる方策を検討しなければならぬことでしょう。

そして、将来の明るい「希望」は、「次世代」の「若いセンスと努力」に託して、熱い「エール」をお送りします。



## 新年の挨拶

桜島学園 園長 野口 輝俊

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。昨年は世界中がコロナ禍で、当園としては法人を挙げて徹底したコロナ対策を行ってきました。子ども・職員の健康管理と、施設内消毒には特に力を注いでいます。その他、子ども達が楽しみにしている行事のうちいくつかを残念ながら中止し、また外出等も自粛の協力をお願いしてきました。当たり前の生活が不自由になって、はじめて日常のありがたさを感じています。子ども達には不自由をさせてしまい申し訳ない気持ちで一杯ですが、十分な説明を行い、それを理解して生活してくれました。保護者の皆様にも何かとご不便をおかけしましたが、ご協力をいただきありがとうございます。

そんな大変な一年でしたが、当園では職員研修に力を入れた年でもありました。その成果もあり、支援の在り方を見直した年になったので、いくつか紹介したいと思えます。まず子ども支援計画についてです。これまでは職員が評価して支援計画を立てていましたが、ニーズと

ずれてしまう可能性があります。今年から、本人と面談を行い、意向に沿った計画を立てるようになりました。次に、子ども達と一緒に形骸化しつつあった部屋会の充実を図りました。ホームの運営、行事、要望、課題等を定期的な話し合う機会を持ち、自分たちの生活を大切にできるような支援してきました。また各ホーム職員によるホーム会議を行い、個別面談、部屋会の結果を踏まえ、個々のケースの見立てを行い、支援してきました。その他、子ども達にも行事立案に参加してもらい、子どもの声を反映させました。さらに今年は、保護者のご自宅への家庭訪問を積極的に行い、関係機関へも迅速に出向いて、ご協力を頂いてきました。今さら基本的なことばかりと思われるかもしれませんが、基本である日常の生活を大切に、昨年当園で一番使われた言葉である「子どもに寄り添った支援」を、今年も粘り強く展開していきたいと思えます。本年もよろしくお願いいたします。

### 新年の挨拶

和光学園 施設長 佐多 慶一

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年年頭からの新型コロナウイルスは一年経った今も拡大し、不安は払拭しえないところですが、早く落ち着いた日常が訪れることを願うばかりです。

これまで利用者様は、コロナ感染を防止するために施設行事、外出、面会等の自粛により、大変窮屈な思いをされていますが、今懸念すべきは利用者様のストレスの蓄積です。実際、不安定な状況に陥り、病院受診や入院されている利用者様がいらっしゃると思います。そのようなことから、職員は利用者様のストレスの解消に努めながら、少しでも安心、快適な生活が送れるようにいろいろと工夫しています。法人恒例の運動会や施設外行事等は開催できませんでしたが、誕生会や散歩、運動など施設生活単位での行事は見直しながら開催してきました。今後、更に潤いある生活の確保に努めたいと思っています。

### 新年の挨拶 (コロナ禍における取組み)

桜町学園 施設長 前原 昭子

明けましておめでとうございます。います。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、今迄とは大きくかけ離れた生活となってしまいました。

桜町学園におきましても、昨年の三月以降、面会や外出、外泊等を自粛していただく事となり、園内外行事や家族会総会等も縮小や中止になるなど、保護者の皆様も心配されている事と思えます。

さて、学園での現状についてですが、感染症の特徴がよく分からない時期を経て、徐々に国県等から対応策の情報が発信されるようになり、それに基づき、面会や行事等の実施方法の工夫に取り組んでいます。具体的には体温計測、マスク着用、手指消毒及び園内外等の消毒、三密回避等の徹底を基本に、次のような取組を行っています。

●面会については、地域における発生状況を踏まえて、事前予約にてのオンライン面会や窓越し面会を実施しています。画面の中や窓越

●ただけでもお互いに顔を合わせる事で、安心される様子を拝見し、改めて人々との繋がりが、絆の大切さを再確認しました。

●外出については、短時間の少人数でのドライブ等を実施しています。ドライブにて町並みや道行く人を眺めるだけでも利用者様が笑顔になり、職員も嬉しくなりました。

●職員の行動については、新しい生活様式の徹底と、他県への移動については、地域毎の感染者数の動向を把握しながら自粛と緩和を繰り返す事への理解を頂いています。

●教育実習生の受入については、教員免許取得の為に介護等体験実習生のみ受け入れていきます。但し、利用者様との直接支援は無く、担当職員を固定し、広い空間にてパソコンや映像、介護用品を使う等、感染防止策を講じた新しい実習プログラムを作成し実施しています。

●地域貢献事業(ドライブサロン)についても、地域における発生状況を見ながら、鹿屋市社会福祉協議会様と協議の上、再開しております。利用されている高齢者の方々は自粛期間中、出かける機会が少なくなっていた為、大変喜ばれています。

桜町学園では、「感染防止」と「利用者様の自由な日常生活」の両立を課題とし、新型コロナウイルスの状況に応じ、適切な対応策を講じつつ、利用者様の自由を少しでも広げられるように努めている所です。

終わりの見えないコロナ禍で関係各位の皆様には多大なご迷惑をお掛けしておりますが、これからも利用者様の健康と安全を守るため、国県等の対策を踏まえながら対応をさせて頂きますので、何卒ご理解、ご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。



### コロナ禍のメンタルケア

フレンドリーホームいぐま 施設長 指宿 章子

令和三年新春のお慶びを申し上げます。

ご家族におかれましては、感染拡大防止対策へのご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。お陰様で現在のところ、利用者様、職員共に誰一人感染することなく元気に毎日を過ごしております。

昨年初め一部の国で感染症が流行し始め、感染力も強くグローバル化も重なり、あれよあれよという間もなく、全世界へコロナ感染症が拡大し、感染者五千万人・死者百三十万人と増加の一途を辿り、鎮まる気配もありません。人の行き来で経営経済が成り立っていた交通機関、宿泊事業、外食関係、小売販売等の利用者の減少から、経済的に大変な打撃となり雇用喪失まで拡大しています。日本の自殺者は年間三万人を下回っていました。コロナ禍で再度三万人を超えそうです。目に見えない感染症は、人と人との関わりを遮断し、身体のみでなく心まで病んでしまう怖い病気である事をスペイン風邪から百年経過した現代人に知らしめてい

るようです。一日も早く有効なワクチン開発、摂取が可能となり、外出、旅行、対人交流が安心して行え、笑顔で暮らせる日常が待たれます。インフルエンザ感染時期に行ってきた手指消毒、マスク着用が、新しい生活様式で確実に習慣化することにより、感染症を防ぎ、罹患した場合、重篤・死亡につながりやすい基礎疾患者や高齢者の命を守ることに繋がっています。

事業所の玄関に、コロナでのメンタルケアとして、二、睡眠、食生活、運動等の生活リズムを崩さない、心がけが大事。一、家族友人等に直接会えなくても電話、ライン等利用し、人とつながっている。感覚が大切」と提示しています。簡単なことのようにですが、現在の生活を振り返り、人は人と関わることで人間らしく生きていけることを、コロナ感染症が示しているように思えます。



### 新年を迎えて

総合サポートセンターラン 施設長 松元 洋和

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新年をつつがなくお迎えされたこととお慶び申し上げます。

総合サポートセンターランの利用者様及び職員共々が、新年を元気に迎えられましたことは、皆様方のご指導、ご支援あつてのことと、心より感謝申し上げます。

- ① 当事業所の事業内容に関係機関へ周知。
  - ② 様々な利用者像に対応した支援者のスキルアップ。
  - ③ 事業所内での連携構築。
- この三つを軸とし、私自身も支援者の意見を積極的に聴き、事業所の発展に取り組んでいきます。
- 今年も、利用者様及び保護者様が望む支援を行い、皆様安心して暮らせるサービスを提供できる事業所として、職員一丸となって取り組む所存でございますので皆様方のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、当事業所では令和二年十月より、生活介護及び通所介護（共生型）事業の利用定員二十名から三十五名へ変更を行いました。これに伴い、障害福祉サービスと六十五歳以上の介護保険サービス（共生型サービス）の充実を図るとともに、重度高齢化等、利用者様及び保護者様のニーズに寄り添ったサービスを展開していきます。また、訪問介護事業においても双方のサービスを発行っており、より一層共生型サービスの充実を図ってまいります。グループホームの利用者様におきまして、一人一人のニーズに寄り添った支援を継続していきます。これらの事業を行っていく上



### 米大統領選挙を視聴して感じたこと

福祉総合相談支援センター あい 管理者 宮園 正志

私はメディアの報道を眺めながら、トランプ大統領は一見滅茶苦茶な権力行使を続け、好き放題に政治を行っているのかなという印象を持った。トランプ氏は今回の投票結果に納得しておらず、法廷闘争を視野に動いていると言われているが、メディアを味方にできなかったトランプ氏、及びメディアに翻弄された人の勢いが後押しし、バイデン氏の勝利につながった部分もあるのではないかと。

日本で政治経済に精通しない者が米国の情勢を知るには、大手メディアのニューヨークタイムズやCNN・ワシントンポスト等の情報が殆どと言われる。つまり、主要メディアが政治性などに偏りをもつと、政治家を選ぶ国民の認識にも当然偏りがみられることになる。ちなみに二〇一六年の大統領選で、もつとも世論の動向を正しく伝えたのはラムセン社と言われている。このように考えると、主要メディアの特徴や裏と裏を知ることが誤って理解する危険を防ぐ大切なポイントとなる。トランプ政権の実績について、あまり耳にしなかった部分を調べてみた。①戦争をしなかった。②一部では摩擦を大きくさせただけとの見解もあるが、対中国政策での実績。③拉致被害者(横田めぐみ様)の父横田滋様逝去の際、追悼の意を表した。④民主党支持のメディアに正面から討論姿勢を示した。このような実績や姿勢についてメディアはどれほど報道しただろうか。一方で、今回当選確実としたバイデン氏の過去の実績について、私個人の調べたところ、これと比べて見当たらないところ。このようにみるとトランプ氏は主要メディアがいう「国民の敵」とまで言えるのか疑問である。そもそも今の時代、メディアに中立公平性が求められているのだろうか。中立公平性の基準があるとすれば、大きく変わろうとしている社会や多様な価値観の中で、どのような基準をもつべきなのだろうか。

これまで私はメディアの報道に対し、これと比べて意識もせず、疑問もたず眺めていることが多かったが、今回の大統領選挙で、メディアの情報を鵜呑みにしないことの大切さを再認識し、自分にとって都合の良い曖昧な判断や行動とならないよう、自分を育てるためにも何をどのように考え、行動するかを心の片隅におきながら生活していくことの大切さを改めて知った。

### 小規模多機能ホームあいわオープン

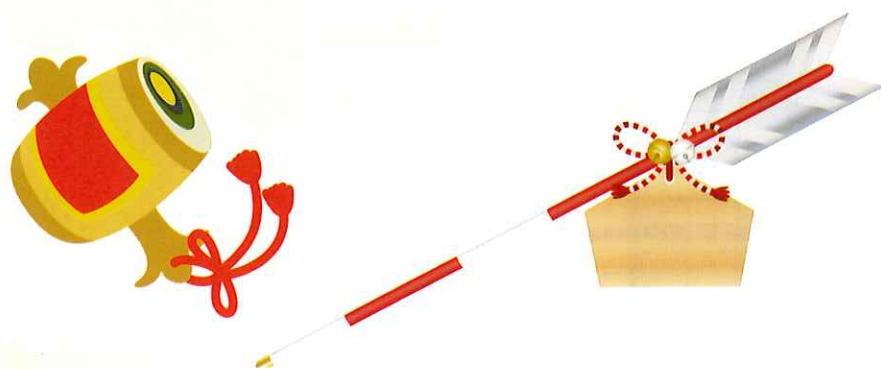
小規模多機能ホームあいわ 管理者 新地 拓哉

令和二年十月一日、愛光会は介護保険の地域密着型サービスである「小規模多機能ホームあいわ」を鹿屋市吾平町に開設致しました。コロナ禍の大変な時期に開設できましたのも皆様の多大なるご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。なお、同日付で私が管理者職を拝命致しました。至らない面が多く、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

存の在宅サービスでは限度額の関係で介護度によってサービスの上限が決められています。一ヶ月の包括料金となりますので、必要に応じて比較的柔軟なサービス提供ができるのも強みです。

さて、小規模多機能型居宅介護のサービス内容ですが、事業所の担当者が作成した計画に基づき、通い・泊り・訪問のサービスを対象者の状態によって組み合わせ、在宅での生活を継続できるように支援することを目的としています。そのメリツトとして、普段通り慣れている事業所で泊まることができ、顔馴染みの職員が訪問することにより、認知症の方の混乱を最小限にすることが出来ます。一ヶ所との契約なので、契約書等の書類を複数枚記入しなくて良いことも挙げられます。また、既

二年程前から開設準備室を立ち上げ、応募書類や補助金等の申請書等の準備、営業活動やレクリエーション等の準備を行ってきましたが、現実には想定外のことも多く、試行錯誤しながらの毎日です。地域住民の方々や関係各所の皆様のご協力を頂きながら、地域になくてはならない事業所として成長できるように職員一丸となって取り組んでいく所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。





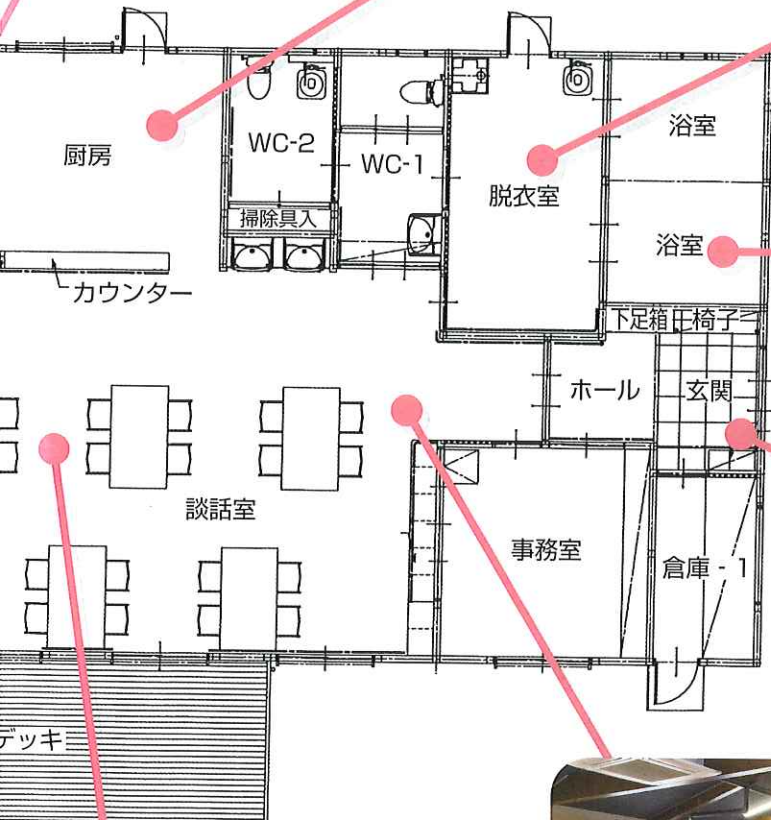
廊下



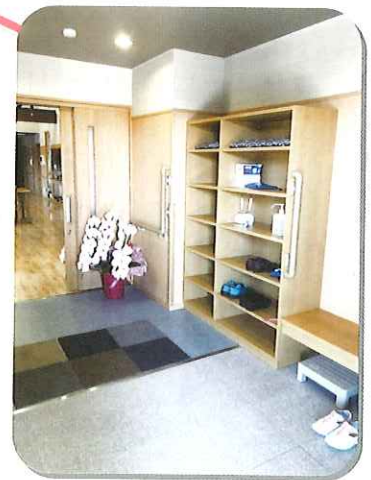
厨房



脱衣室



浴室



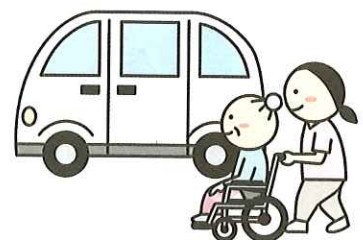
玄関



談話室



談話室



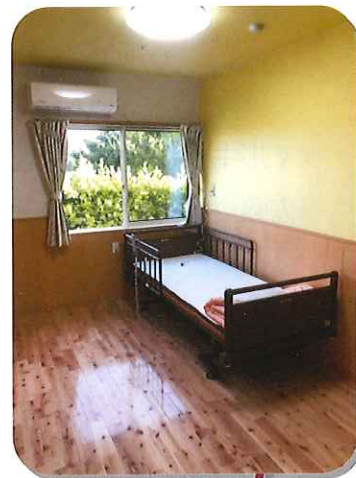
# 小規模多機能ホーム あいわ 建物内の様子



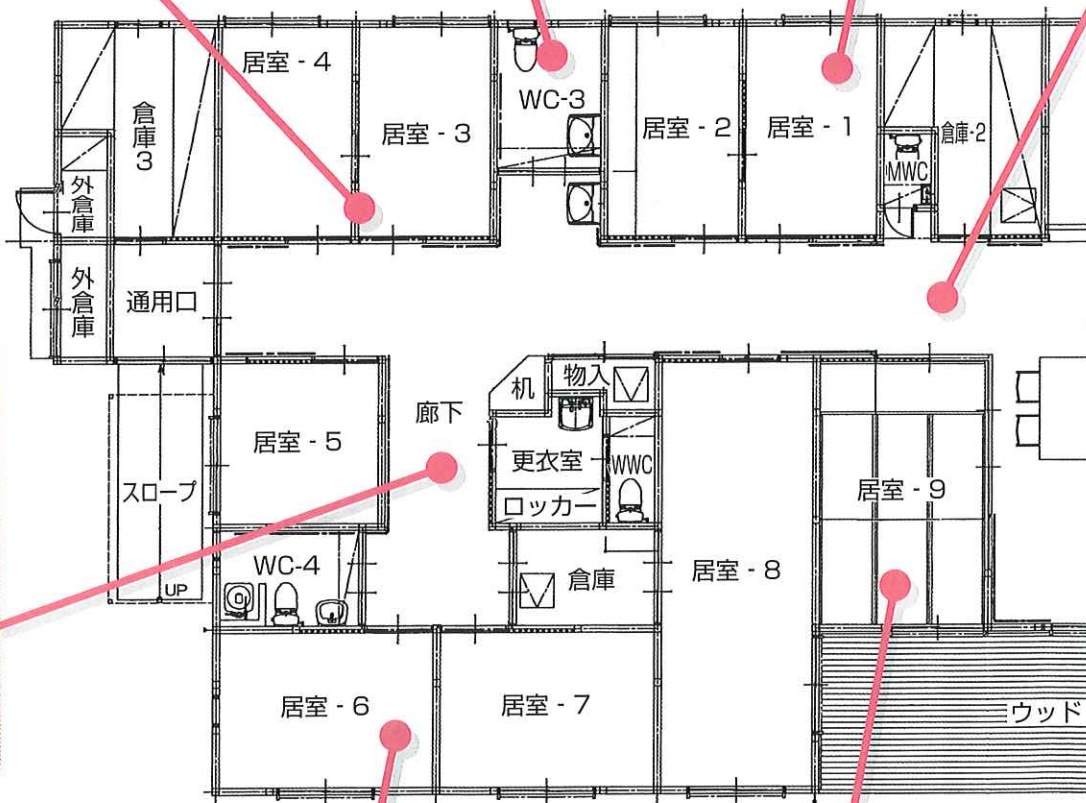
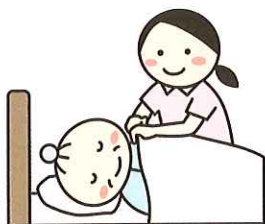
居室



トイレ



居室



廊下



居室



居室



あいわスタッフ

### 寄贈一覧 和光学園・おひさまキッズ

(R2.7.1~R2.11.30) ※順不同

- マルキン食品株式会社様
- 佐藤食品工業有限会社様
- 長谷川澄雄様

八月に入職いたしました。先輩方に指導をいただきながら、利用者様にとってより良い支援ができるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



桜町学園  
生活支援員  
富永 麻美

新任職員  
の紹介  
ニューフェイス

### 寄贈一覧 桜島学園分

(R2.7.1~R2.11.30)

※順不同

- トータルデザインセンター  
代表 上村 裕貴様
- 佐藤食品工業有限会社様
- 牛込あゆみ様
- 屋久島東部茶生産組合様
- 佐川急便株式会社様
- 株式会社カーネギー産業様
- 東桜島地域校区社会福祉協議会様
- 東桜島民生委員児童委員協議会様
- 株式会社 森組様
- フードバンクかごしま様
- 竹之下次雄様
- 九州アイスクリーム協会様
- 鹿児島ライオンズクラブ様
- 松月堂様
- ユーコーラッキー様
- JA 鹿児島みらい様
- 長谷川澄雄様
- 堂園雅生様
- 福島県郡山市大久保利通公顕彰会様
- ドクタージャパン株式会社様

たくさんの寄贈をいただきました。心から感謝いたします。



編集  
後記

あけましておめでどうござ  
います。

皆様におかれましては、ご  
健勝にて新しい年をお迎えの  
こととお慶び申し上げます。

昨年は四十八年ぶりに鹿児  
島国体の開催が予定されてい  
たことをご存知ですか。

私事ですが、ソフトボール  
成年男子の国体強化選手と  
して五年程前より召集され、  
日々練習に励んでいました  
が、国体が延期になり、今ま  
での練習が水の泡になったよ  
うな感じがして悔しく思いま  
した。しかし、三年後に鹿児  
島国体開催が決定したので、  
この悔しさをバネにして、大  
会へ向けて技術の向上に取り  
組んでいきます。

また、愛光会だよりも編集  
員一同、より一層内容の充実  
に取り組んでいきたいと思  
います。

(編集員一同)

